

11 海外勤務、海外留学

海外勤務 >>> 在外公館（大使館等）

厚生労働省職員としての経験を一定程度積んだ後、厚生労働分野のアタッシュ（担当官）として、大使館等の在外公館で勤務する機会もあります。相手国政府は、少子高齢化が進んでいる日本の様々な制度、日本政府の対応ぶりに関心を持っています。厚生労働分野のエキスパートとして、政府機関、様々な関係団体、国際機関等に説明、交渉することも多く、ハードではありますがやりがいを感じる仕事であり、国際的なフィールドで幅広い経験を積むことができます。

海外勤務者（在フィリピン日本国大使館勤務）より

現在、大使館で労働アタッシュとして勤務しています。大使館で勤務する際、先方政府は、気軽に協議や相談できる日本政府のカウンターパートとして見なしており、大小様々な相談事項、協議事項が寄せられます。日本政府の代表として、両政府にとって最適解とすべく先方政府

と協議したり、多くの当地の企業や日系企業から寄せられる相談に対応したり、様々な会議やセレモニーにて英語で挨拶したりと入省後の経験を発揮する機会も多数あります。



会議で挨拶している写真です。



会議に出席した全員の記念撮影です。

海外留学 >>> 大学院等

国際的な行政官を育成することを目的とした「行政官在外研究員（海外留学）制度（長期・短期）」があり、前から数理職員も派遣されています。

派遣者より

イギリスにあるインペリアルカレッジロンドンで疫学を勉強しています。疫学とは健康関連の指標を人口レベルで分析する研究分野で、ほとんどの場面で数理統計学を用います。クラスメートはイギリス、大陸ヨーロッパを中心に世界各国からの出身者で構成されており、バックグラウンドも医療、公衆衛生、数学、統計学、生物学…と様々です。そのようなダイバーシティに富む環境で、英語を用いて、論理的にかつ分かりやすく説明する（文章、口頭ともに）、グループで議論するという訓練を重ねています。派遣期間中に積んだ国際経験を将来の職務に活かせたらと思います。



理工系の大学らしく工学的な造形物が点在しています。